

特集 Special feature

林業が森林環境と暮らしを守る！
100年先を見据えた森林づくり



100年先を見据えた 取り組みを進めています

災害に強い森林づくり

●重点区域森林整備事業

近年頻発する豪雨・豪雪などによる森林被害を減らすため、手入れ不足の人工林の間伐を、地域要望などにより市が重点的に行います。また、二次災害の恐れのある倒木処理や作業道の補修などを併せて行います。



重点区域森林整備事業

●森林作業道維持修繕事業補助金

作業道を管理する町内会などの団体が行う災害に強い森林作業道の維持修繕活動経費を助成します。要件などは、市HP(QR)でご確認ください(今年度の募集は終了)

〔助成額〕対象経費の4/5
(上限100万)



●森林境界の明確化事業

森林整備時に森林の所有者を特定できるよう、森林の地籍調査を計画的に実施しています。



適正に管理された森林作業道

市産材の利用

●匠の家づくり支援事業

市産材の需要拡大により持続的な林業の振興を図るため、市産材を使用した住宅・店舗・事務所の新築や改築に対し助成を行います。要件などは、市HP(QR)でご確認ください。

〔助成額〕木材1㎡の使用で
2万円(上限30万円)



県立森林文化アカデミーでの講義の様子



市産材をふんだんに使用した木造建築

一緒に始めませんか？

100年先の取り組み

森や木に触れ、100年先の森林づくりを考え、できることから一緒に始めてみませんか？

①木製品を使いましょう

箸やスプーン、まな板、おもちゃなど、身近なものに市内で生産された木製品を選んでみるのも第一歩です。

②森づくりイベントに参加しましょう

市内で開催される「木のおもちゃづくり」や「森づくり体験」などのイベントに参加してみたいか、どうでしょうか？詳細は市HP(QR)をご覧ください。

